

# 救急入院センター

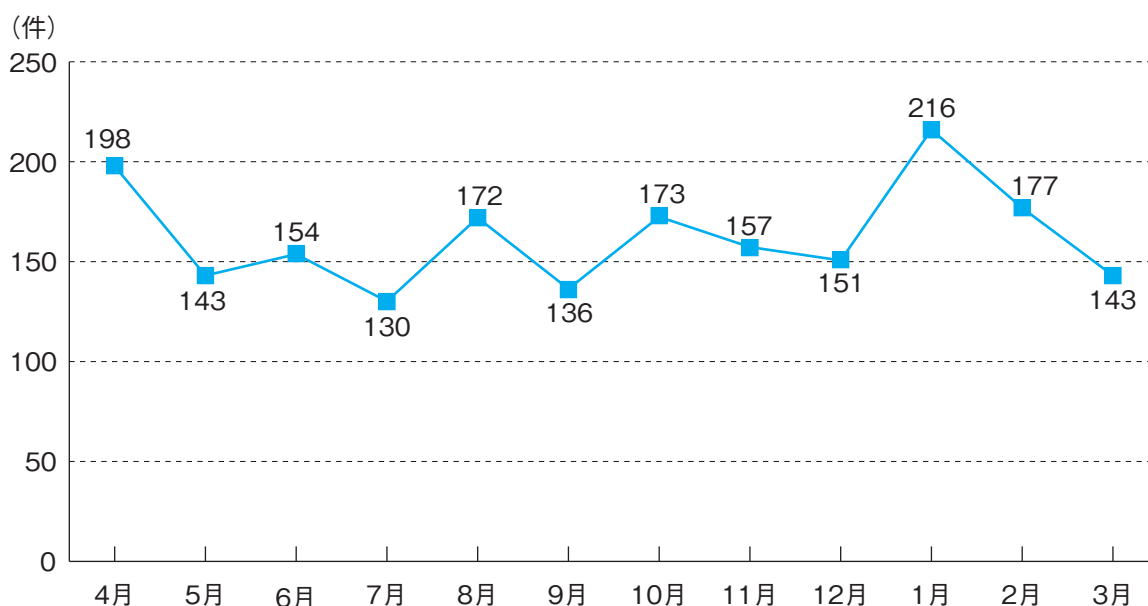
## 1. 概要

救急入院センターは2013年度より設置され、センター長 平松和洋（外科兼任）、副センター長 中島基晶（麻酔科兼任）、菅沼伸一（呼吸器内科兼任）で開始した。

当センターはICUに隣接し、ICU適応以外の夜間・休日の救急入院患者の受け皿として機能している。基本的に各科主治医が患者の診療を行い、センターメンバーは主に本センターの管理・運営を主体として活動している。実働病床は昨年同様本年も12床で、2013年度の特定救命救急病床加算算定件数は2,713件であったのに対し2014年度は1,950件とやや減少した。2014年4月～2015年3月までの各月の推移は以下のグラフのごとくである。加算の多くは3日以内で、昨年の統計と比較すると7月と9月の減少が著しく、これが減少の主因と考えられた。また当直体制はセンターのメンバーだけでなく各科部長にも委託して行い、夜間入院患者の救急処置に当たってきたが、2014年度は特に大きな問題なく経過した。

（センター長 平松 和洋）

### ●救命救急入院料算定件数



### ●算定件数の内訳

	2014年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2015年 1月	2月	3月	総計
救命救急入院料1 (3日以内)	136	122	136	114	139	115	143	117	119	138	134	129	1,542
救命救急入院料1 (4日以上7日以内)	41	16	16	16	23	11	22	24	25	46	28	13	281
救命救急入院料1 (8日以上14日以内)	21	5	2	0	10	10	8	16	7	32	15	1	127
計	198	143	154	130	172	136	173	157	151	216	177	143	1,950